

第 11-6 号

# 耕人

『耕人塾』

塾長 木村 民男

令和 4 年 10 月 22 日 (土)

## 「文・武・楽三道（学問・武道・スポーツや趣味）」とは？

『耕人塾』指導指針の一つに「文・武・楽三道（学問・武道・スポーツや趣味）の講話や体験を通して、人間的な幅と深さを身に付けさせる」があります。「武」と「楽」の違いについてはちょっと難しい表現になりますが、それぞれの大切さを考えてみてください。

「文」は学問ととらえています。学問とは体系化された知識や方法のことで、思考力・判断力・表現力などを養うことも含まれます。特に、学習した知識を活用して問題を発見する力やそれを解決する力、他者と協力して主体的に学びを広げ深めていく力が大切になります。『耕人塾』では、地域で活躍している方々の講話を聴いて知識や技能を身に付け、課題を解決するためのグループでの話し合いを通して学びを広げ、深める取り組みをしています。

「武」とは武道のことです。武道の修練による心技一如の運動文化で、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養うことです。去年は、全日本剣道選手権大会に連続出場している武田直大氏（石巻北高校剣道部顧問）の講話を聴くことによって武道の一端に触れました。今年全日本剣道選手権大会は 11 月 3 日（木）です。テレビ放送されますので、どんな試合をするのが観てください。武道の魅力に気付くかもしれませんよ。

「楽」とはスポーツや趣味などのことで、日常生活を豊かにし楽しむためのものです。日本ではスポーツにも武道的要素を取り入れている場合もありますが、基本的には勝敗の結果や過程を楽しむことが主になります。『耕人塾』ではニュースポーツの体験等を通じて楽しさを味わう機会にしています。私も、バレーボールや卓球の世界大会で日本チームを応援しながら一喜一憂しています。また、ものづくりを趣味にしていますが、素材を生かして人が喜ぶものを創るにはどうしたらよいかを考えているとワクワクし、楽しいひと時になっています。

ところで、スポーツと武道の違いについて剣道範士八段の井上義彦氏は「スポーツはルールに基づいて正々堂々と競い合い、武道は規則（ルール）からできるだけ離れたところで勝負する」といっていますが、いい得て妙な言葉であると思っています。サッカーの試合を見ていて相手選手の腕をつかんだり、ユニフォームを引っ張ったりすることもあります。反則にならない程度であれば許されているようです。一方武道の一つである相撲では、上位の者が引いたり逃げたりして勝ったりすると批判されたりすることもあります。私はどちらも大事だと思っています。

『耕人塾』では、文・武・楽の三道が大切であり、それらが融合して人間的な幅や深さになるのだと考えています。塾生の皆さんには興味のあることに思い切って挑戦してみしてほしいと思います。今まで分からなかった新しい楽しさや魅力を発見するかもしれませんね。

## 「駐輪場職員の優しさ感謝」（河北新報「声の交差点」から）

10/6(木)の「声の交差点」に載った遠藤菜々子さん（高校 3 年）の記事（要約）を紹介します。「仙台市地下鉄泉中央駅駐輪場に自転車を預けた日のこと。模擬試験があり会場に向かわなければならず、かなり焦っていた。慌てて自転車を止め、離れようとした時、財布を落として小銭をばらまいてしまった。硬貨を急いで回収し、何とか予定していた地下鉄に間に合った。帰りに駐輪場に入ると自分の自転車に「落し物と思われるものがあるので管理室を訪ねてください」という貼り紙があった。私が落とした 500 円玉を含む 3 枚の硬貨を拾って紙に貼り、保管してしてくれたのだ。遠くから見ていた職員の方が回収し、午後の方に託したそう。紙に貼られたお金は今もそのまま財布に入っている。親切で優しい職員の方の対応が強く心に残り、心から感謝している。」心が温くなる記事ですね。お金を拾ってくれた人、それを届けてくれた人、拾ってくれた方に感謝している人の心が互いに共鳴しているからなのだと思います。